

## 第1学年 生活科 授業構想シート

授業者 田中 伸一

本実践の主張点	校内の様々な土で遊びを繰り返すことで、〇〇遊びには、どんな土が適しているかを、肌で親しみながら試行錯誤していく姿がみられるであろう。
---------	--

### 1. 単元名 土を使って遊ぼう

### 2. 1年A組の子ども

<p>6月から全員登校が始まり2カ月が過ぎ、徐々に学校生活にも慣れてきた様子である。生活科での栽培活動や校内探検を通して、教室以外の場所との出会いや、ともに活動する中で発見したことを友達と話している姿が見られた。栽培活動の苗植えの時、土の表面は熱いが、土を掘り進めると温度が下がっていることや、土をギュッと握ると固まることに気づき嬉しそうに話していた。しかし、子どもたちが土を触って遊んでいる様子を見ることはそれ以降にはなかった。栽培活動において身近である土が、子どもたちにとって身近ではない。だから、土にもっと親しませたいと思った。</p>
---

### 3. 何ができるようになるか

探究力	身近な生活に関わる見方・考え方を働かせながら、目の前の未知の問題に対して、探究のプロセスをとおして、解決に取り組む資質・能力
省察性	身近な生活に関わる見方・考え方を働かせながら、自らの学びにおいて学びの方法や道筋を調整・改善したり、学びを意味づけたり、学んだことを自己の生活や行動につなげたりする自己効力感に支えられた資質・能力

### 4. 何を学ぶのか

#### ① 単元の目標

<ul style="list-style-type: none"> <li>・それぞれの場所の土には、粒の大きさや混ざっているもの、色や手触りなどさまざまな違いがあることに気づくことができる。</li> <li>・土遊びを楽しむために、どの土が合うのか考えて、試しながら遊ぶことができる。</li> <li>・友達と楽しみながら、土に親しみ、土で遊ぶ良さを感じながら遊ぶことができる。</li> </ul>
--

#### ② 教材の価値

<p>土はとても身近な自然である。素材である土には遊びを広げる様々な価値がある。握ると固まったり、手から離すとさらさらと舞い落ちたり、手や足で押すと形が残る。土に砂や水を混ぜることにより、泥団子や土山のように色々な形を作ることができる。土山に水をかけると、川のように水が流れる。穴を掘って、モノを埋めると、元通りに隠すこともできる。更に、遊びを組み合わせることにより、遊びの可能性は広がる。野菜を育てることもでき、焼くと固くなる。土に混ぜられたものや、土の状態によって、土は様子を変え、使い方も変わってくる。土は昔から私たちの生活を豊かにしてきた。竈によって熱で温め調理し、料理を入れる器となり、壁となり外敵・寒さから身を守ってきた。しかし、今子どもたちの遊びの場に土が登場することがない。本単元では、遊びを通して、土について学び、土に親しむ態度を育てたい。</p>
---

### ③学年間・教科間のつながり

本実践で扱う題材は、1 学期の栽培活動や校内探検から繋がり、教科書では「あそびをつくろ」と「なつと あそぼう」の小単元を組み合わせたものである。理科では、4 年生「雨水の行方と地面の様子」5 年生「流れる水のはたらき」6 年生「大地の作りと変化」と、土の粒の大きさ、土と水との関係についてつながっていく。社会科では、3 年生の「かわってきた人々の暮らし」や6 年生の歴史学習につながっていく。

## 5. どのように学ぶのか

### ①学習内容を理解し、資質・能力を育成するための学習過程

<p>単元計画（全 10 時間） 本時 5/10 *自由記述</p> <p>第 1 次 土ってどんな感じ？（3 時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土ってどこにある？どんな遊びをしよう？</li> <li>・色々な場所にある土を感じてみよう 色々な場所の土を並べて、触って、嗅いで</li> <li>・土がある場所に行こう</li> </ul> <p>第 2 次 土遊び名人になろう（4 時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・土を使った遊びを楽しもう（団子、山、水流し、宝隠し、形づくり、泥水づくりなど）</li> <li>・遊んで、感じて、交流しよう（本時）</li> <li>・土遊びを工夫しよう、交流しよう</li> <li>・土遊びを工夫しよう</li> </ul> <p>第 3 次 1A おすすめ土遊び大会をしよう（3 時間）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・遊び方紹介カードを作り、紹介する</li> <li>・色々な遊び方で楽しむ</li> </ul>	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 20%;"></td> <td style="padding: 5px;">                     単元における授業づくりの「しかけ」                      探究力 <b>主</b>: 主体 <b>協</b>: 協働 <b>活</b>: 活用                      省察性 <b>気</b>: 気付く <b>決</b>: 決める <b>動</b>: 動く                 </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">探究力を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <b>主</b> 子どもが何度でもくり返して遊べる機会と環境を作り、試行錯誤できるようにする。  <b>協</b> 自分がやりたい遊びがもっと楽しくなるように、土で遊んでみてうまくいったことや困ったことを友達と考え合って、遊びをより楽しくできるようにする。  <b>活</b> もっと楽しくなるために自分なりに改良したり、遊んでみて、困ったことを自分なりに考えたり体験から考えたりして改良することができる。                 </td> </tr> <tr> <td style="width: 20%; text-align: center; vertical-align: middle;">省察性を育む</td> <td style="padding: 5px;"> <b>気 決 動</b> 自分の取り組みに対して「どうだったか」継続的に振り返ることで、自分の思いに合った土を選んだ遊び作りになるよう工夫させる。                      ・繰り返し遊ぶことで、うまくいったことや困ったことを友達と考え合って、より楽しくする。                 </td> </tr> </table>		単元における授業づくりの「しかけ」 探究力 <b>主</b> : 主体 <b>協</b> : 協働 <b>活</b> : 活用 省察性 <b>気</b> : 気付く <b>決</b> : 決める <b>動</b> : 動く	探究力を育む	<b>主</b> 子どもが何度でもくり返して遊べる機会と環境を作り、試行錯誤できるようにする。 <b>協</b> 自分がやりたい遊びがもっと楽しくなるように、土で遊んでみてうまくいったことや困ったことを友達と考え合って、遊びをより楽しくできるようにする。 <b>活</b> もっと楽しくなるために自分なりに改良したり、遊んでみて、困ったことを自分なりに考えたり体験から考えたりして改良することができる。	省察性を育む	<b>気 決 動</b> 自分の取り組みに対して「どうだったか」継続的に振り返ることで、自分の思いに合った土を選んだ遊び作りになるよう工夫させる。 ・繰り返し遊ぶことで、うまくいったことや困ったことを友達と考え合って、より楽しくする。
	単元における授業づくりの「しかけ」 探究力 <b>主</b> : 主体 <b>協</b> : 協働 <b>活</b> : 活用 省察性 <b>気</b> : 気付く <b>決</b> : 決める <b>動</b> : 動く						
探究力を育む	<b>主</b> 子どもが何度でもくり返して遊べる機会と環境を作り、試行錯誤できるようにする。 <b>協</b> 自分がやりたい遊びがもっと楽しくなるように、土で遊んでみてうまくいったことや困ったことを友達と考え合って、遊びをより楽しくできるようにする。 <b>活</b> もっと楽しくなるために自分なりに改良したり、遊んでみて、困ったことを自分なりに考えたり体験から考えたりして改良することができる。						
省察性を育む	<b>気 決 動</b> 自分の取り組みに対して「どうだったか」継続的に振り返ることで、自分の思いに合った土を選んだ遊び作りになるよう工夫させる。 ・繰り返し遊ぶことで、うまくいったことや困ったことを友達と考え合って、より楽しくする。						

## 6. 何が身に付いたか

	知識・技能	思考力・判断力・表現力	主体的に学習に取り組む態度
評価規準	・土には、場所により粒の大きさや混ざっているもの、色や手触りなどさまざまな違いがあることに気づく。	・土遊びを楽しむために、自分なりにどの土が合うのか考えて、試しながら工夫することができる。	・友達との土遊びを通して、土に親しみ、土で遊ぶ良さを感じながら遊ぶようとしている。

## 生活科学習指導本時案

授業者 田中 伸一

日時：令和2年9月11日（金）第6校時（14：35～15：20）

対象：第1学年A組 30人

本実践の主張点	土に関わって遊ぶことを繰り返すことで、どの遊びにはどの土が適しているかより具体的に予想し、失敗の原因を分析し、遊びをより楽しくしていこうと試行錯誤する姿が見られるようになるだろう。
---------	--

### 1. 本時の構想と学習課題について

子どもたちはこれまでの体験から、土を丸めると団子ができることを知っている。土をどんどん積んでいけば山が作れ、穴を掘ればトンネルになる。水を流せば、川のように流れる。地面に穴を掘り、土をかけるとモノを隠すことができることを遊びを通して体験している。前時は、その体験を生かし、みんなで土遊びを行う。色々な遊びを楽しんで、どの遊びをさらに楽しめるように極めていくかを選ぶ。

本時では、一人一人が思い思いの土遊びを楽しめるように学習課題を設定する。校内にある土に触れ、感触を楽しむ子、土を使って、丸い泥団子作りを楽しむ子、高い山を作って楽しむ子、作った山から水を流して楽しむ子、カップを使って楽しむ子、みんなに見つからないように土の中に宝物を隠して楽しむ子。土に触れ、道具や水を組み合わせ、形を作っていく中で、思い通りにいかないもどかしさ、思いがけずうまくいったことを体験することになるだろう。うまくいった人の話を聞いて、自分がうまくいってないことに初めて気付くこともある。うまくいったこと、楽しくできたことを共有し、自分の土遊びがもっと楽しくなるように解決策を考え合い、次の活動に向けて方向性を考えていける授業にしたい。

### 2. 本時における探究の質を高める場面と授業づくりの「しかけ」について

本時における探究的な学びは、2回目の土遊びで、自分の思い通りの形作りや遊びを楽しむことができているか、実際に土遊びを楽しむ中で考え、工夫し、予想を試す。土遊びを試した気付きの交流をとおして、自分も更に試してみたいという思いをもち取り組むことで、自分が選んだ遊びにはどの土が適しているかに目を向ける学びとする。

そのためにも、試してみてできたこと・思いがけずうまくいったこと・困ったことを共有する場面を作ることにより、自分たちの体験や気付きから解決策を考え合う。交流を通して、遊ぶ場所の土の粒の大きさ、何をどのくらい混ぜているのかなど、色や手触りの違いに目を向けさせ、自分が土遊びを楽しんでいる土との違いに気付かせたい。本時においては、自分の思いにあった土遊び・形作りになっているか、土の様子や地形などの環境も通して交流する中で、より自分の思いに合った土遊びに向けて意欲をもって取り組む姿を期待している。

### 3. 本時における評価活動について

子どもたちの授業中の発言や土に向かって取り組む様子、iPadの動画や写真等の記録、授業の終わりにふりかえりを書く時間を設定し評価活動を行う。

#### 4. 本時の目標

2 回目の土遊びをして、前回と比べて思いがけずうまくいったこと、うまくいかなかったこと、困ったことについて交流し、次にどんな遊びがしたいか考えることができる。(思考力・判断力・表現力)

#### 5. 本時において働かせたい見方・考え方

くらべる    つなげる    まとめる    わかる    予想する    見方を変える

#### 6. 本時の展開

学習活動と予想される子どもの反応	留意点・評価
<p>1. 学習課題の確認をする</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p style="text-align: center;">土遊びをもっとたのしくしよう。○○あそび おすすめのぼしょはここだ！</p> </div> <p>2. それぞれで土遊びを試す。</p> <p>①泥団子②山（トンネル）作り ③水流し④宝探し</p> <p>3. 遊んで感じたことを交流する。</p> <p>○うまくいったこと△困ったこと</p> <p>&lt;泥団子&gt;</p> <p>○サラサラの土をまぶすと固くなった △すぐつぶれる・うまく丸くならない →水が多いからもっと土を多くする</p> <p>&lt;山作り&gt;</p> <p>○水をかけると崩れず、高い山ができた △硬くて、あんまり掘れなかった →水をかけながら、掘る ・ふわふわで掘ると崩れてしまう →粘土のようにひつつく土を使ってみる</p> <p>&lt;水流し&gt;</p> <p>○高い所から水を流すと勢いがある △ジグザグコースにすると水が止まってしまう →流れやすいように急にしてみる</p> <p>&lt;宝探し&gt;</p> <p>○土全体を手で押さえると、バレなかった △隠した後に押さえると形が残った →板などで押さえて、きれいにする</p> <p>4. ふりかえりカードを書く。</p>	<p>・遊びグループごとに決めた場所へ移動し、遊び始める。</p> <p>※遊びの内容については、子どもたちの発想によって変更の可能性あり。</p> <p>・泥団子、山作り、水流し、宝探しなどについて1つずつ取り上げる。</p> <p>・うまくいったことを取り上げ、子どもたちが何に困っているか気付けるようにする。</p> <p>・困っている人の改善策をみんなで考える。</p> <p><b>思</b> うまくいったこと、うまくいかなかったこと、困ったことについて交流し、次どんな遊びがしたいか考えることができる。</p> <p>・ふりかえりと次試してみたいことを書く。</p>